

2026 年 9 月 11 日

報道各位

株式会社いい生活

入居者アプリと賃貸管理システムの連携強化で、問い合わせ・更新・退去 手続きを自動化

～「データ連携」の一步先を行く「業務プロセス自動化」により、管理会社における入
力・転記・集計などの定型業務を不要に～

パーティカル SaaS（with AI）で不動産ビジネスを進化・加速させ、業界の AI トランスフォーメーション（AX）を推進する株式会社いい生活（東京都港区、代表取締役社長 CEO：前野 善一、東証スタンダード：3796、以下：いい生活）は、入居者アプリ「いい生活 Home」と賃貸管理システム「いい生活 賃貸管理クラウド」の連携強化機能のリリースをお知らせいたします。両サービスを自社で一体的に開発しているいい生活だからこそ、賃貸借契約情報や入居者情報を同期するだけの「データ連携」に留まらず、入居者からの問い合わせ対応、契約更新の意思確認、退去申請までの一連の業務プロセスそのものを自動化します。これにより、管理会社の入居者対応業務における登録漏れや二重入力を防止し、業務効率化と入居者満足度の向上に貢献します。

NEW RELEASE

問い合わせ・更新・ 退去手続きを自動化

- 入居者アプリと賃貸管理システムの連携強化
- 「データ連携」の一步先を行く「業務プロセス自動化」により、管理会社における入力・転記・集計などの定型業務を不要に

 

パーティカルSaaS(with AI)で不動産ビジネスを進化・加速させ、
業界のAIトランスフォーメーション(AX)を推進する

 不動産市場に、テクノロジーを
いい生活



■ 開発の背景

賃貸管理会社における入居者対応は、電話・メール・フォーム・チャット等で受け付けた問い合わせを担当者が手作業で管理システムへ転記・登録するケースが多く、対応漏れや二重登録、担当者間の情

報共有不足が課題となっていました。契約更新の意思確認や退去申請についても、対象入居者の抽出・送信・回答管理を個別に行う必要があり、契約数が多い管理会社ほど工数が増大する傾向にありました。

このような課題を解決するため、いい生活は入居者アプリ「いい生活 Home」と賃貸管理業務システム「いい生活賃貸管理クラウド」の連携を強化し、入居者対応における3つの主要な場面——問い合わせ対応・契約更新・退去申請——を自動連携させる機能を整備しました。

■ いい生活が目指す連携のかたち ——「データ連携」から「業務プロセス自動化」へ

賃貸管理システムと入居者アプリの連携は、賃貸借契約情報や入居者情報をシステム間でやり取りする「データ連携」ととどまるケースが一般的です。データが同期されても、案件の起票、対応履歴の記録、送信対象の抽出といった実務の工程は、担当者の手作業に委ねられていることも少なくありません。「いい生活 Home」と「いい生活賃貸管理クラウド」は、いい生活が自社で一体的に開発しているからこそ、データの同期にとどまらず、業務プロセスそのものを自動化できます。

本機能の内容は以下の通りです。

1. 問い合わせ・案件管理連携

入居者が「いい生活 Home」から寄せた問い合わせは、賃貸管理クラウドに案件として自動起票されます。担当者による転記作業が不要になり、対応履歴も同じ案件データ上で一元管理されるため、対応漏れや情報の分散を防ぎます。

2. 契約更新意向確認

更新対象の入居者に対して、「いい生活 Home」から更新意向の確認を一括送信できます。入居者はアプリ上で回答するだけで完了し、回答結果や電子契約締結結果が「賃貸管理クラウド」に自動反映されるため、個別の進捗管理や手動での集計作業が不要になります。

3. 退去申請

入居者は「いい生活 Home」上で退去の申し出を行うだけで手続きが完結し、賃貸管理クラウドに自動連携されます。退去日・立会日程の調整や原状回復対応の起点となる情報が自動で整備されるため、担当者は電話やメールの内容を聞き取って入力する作業から解放されます。

■ 期待効果

本連携により、管理会社の担当者は問い合わせ・契約更新・退去申請にかかる転記や集計といった定型業務から解放され、入居者対応の質を高めることに時間を充てられます。入居者にとっても、アプリ

ひとつで手続きが完結するため、電話のかけ直しや書類のやり取りといった手間が軽減され、満足度の向上につながります。

■ 今後の展望

いい生活は今後も、「いい生活 Home」「いい生活賃貸管理クラウド」「いい生活 Square」を中心としたプロダクト群の連携を深化させ、入居者・管理会社・オーナーそれぞれの業務が途切れなくつながる仕組みづくりを進めてまいります。

■ いい生活のセキュリティ対策

当社は、以下の3つの柱により、お客様のデータを「構造的」に守り続けています。

1.構造的分離

当社のオフィス（社内環境）と、お客様のデータを管理するデータ金庫（SaaS 環境）は「海を隔てた別の島」のように完全に分断されています。万が一、社内 PC がウイルスに感染しても、SaaS 環境への道を構造的に遮断しているため、二次感染が発生しない仕組みを構築しています。

2.ゼロトラスト（※1）

「誰も信用しない」ことを前提としたゼロトラストアーキテクチャを採用し、社内アクセスも空港の保安検査レベルで都度検証するモデルを採用しています。多要素認証（MFA）を徹底し、常に厳格な本人確認を実施しています。

3.クラウドネイティブ（※2）

RDP（遠隔操作）を利用する方式とは異なり、ブラウザや API 通信による方式を一貫して採用しています。限定された指示データのみを通し、ウイルスの主要な感染経路となるドライブ共有等の仕組み自体が存在しないため、リスクを構造的に排除しています。

また、いい生活は、情報セキュリティ規格である ISO/IEC27001（ISMS）をはじめ、クラウドセキュリティ規格である ISO/IEC27017（ISMS-CLS）、IT サービスマネジメント規格である ISO/IEC20000（ITSMS）の3つの国際認証を取得し、厳格な運用を続けています。

いい生活は、単なるソフトウェアベンダーではなく、お客様のビジネス継続性を最優先に考える戦略的パートナーとして、今後も「止まらない不動産実務基盤」を提供し続けます。

※1 ゼロトラスト：「社内ネットワークだから安全」という従来の性善説を捨て、「すべてのアクセスを疑い、その都度検証する」という考え方

※2 クラウドネイティブ：既存のソフトウェアを単にクラウド上の「場所」に置くのではなく、「最初からクラウドで動くことを前提」に設計・構築されたシステムのこと

- **いい生活 Home** <https://www.es-service.net/service/es-home/>

「いい生活 Home」は、賃貸物件の管理会社が、入居者とスムーズにコミュニケーション可能なアプリケーションです。アプリケーション内で、トラブル報告やメンテナンス依頼、お知らせの受け取りなどが可能で、入居者の利便性向上と共に、管理会社側も業務の効率化が図れます。

- **いい生活賃貸管理クラウド** <https://www.es-service.net/service/management/>

賃貸管理システム「いい生活賃貸管理クラウド」は、管理会社やオーナー様向けのクラウド型賃貸管理サービスです。物件管理、賃貸契約、入出金管理など、賃貸管理業務のあらゆる業務を一元管理でき、従来紙やエクセルで行っていた管理を1つのシステム内で完結し、仲介会社への情報提供の効率や正確性も大幅にアップします。また、クラウド型のため、常に最新の法改正に対応した機能・システムを提供することができます。

- **株式会社いい生活 会社概要** <https://www.e-seikatsu.info/>

いい生活は「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」というミッションのもと、不動産市場のAXを推進するSaaS&データプラットフォーム企業です。国際認証に裏付けられた強固なセキュリティ基盤で、物件・オーナー・入居者・お金が交わる膨大なトランザクションを安全に処理し、高度なデータマネジメントで不動産業界の業務改革と経営判断の高度化を支援しています。変化の激しい市場環境に柔軟に対応するクラウドソリューションを通じ、「心地いいくらしが循環する、社会のしくみをつくる」というビジョンの実現を目指します。

- 商 号： 株式会社いい生活
- 所 在 地： 東京都港区南麻布五丁目2番32号 興和広尾ビル 3F
- 設 立： 2000年1月21日
- 資 本 金： 628,411,540円（2026年3月末現在）
- 事業内容： 不動産市場向けSaaSの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社いい生活 マーケティング本部 広報部

TEL：03-5423-7836（平日9時～18時）

E-Mail：contact.pr@e-seikatsu.co.jp